

みんなにやさしい まちづくりをめざして

～バリアフリー・ユニバーサルデザインってなんだろう？～

まちには、いろいろな人が暮らしています。
ふだん、当たり前に感じることでも、お年寄りや
障がいをもった方にとっては、ちょっとしたこと
が「バリア」になることがあります。
「みんな」にやさしいまちをつくるために何がで
きるか考えてみよう！

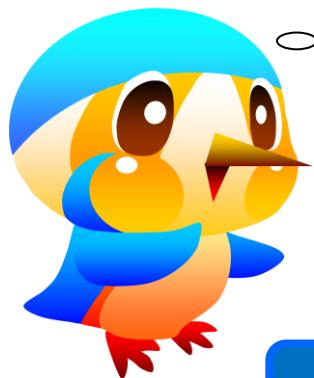


綾瀬市マスコットキャラクター

「あやびい」

平成30年11月
(一部改訂)
綾瀬市

バリアフリーとユニバーサルデザインってなんだろう



そういえば、バリアフリーとか
ユニバーサルデザインって、
よく聞く言葉だけど・・・？

「バリアフリー」とは？

みんなが行きたいところに自由に気持ちよく行けるように、不自由さや不便さ（バリア）を取り除いて（フリー）、暮らしやすいまちを作ること。

・・・そして1番大事なことは、まちにはいろいろな人が暮らしていることを知り、みんなの気持ちをわかり合い、助け合う心を持つことです。

では「ユニバーサルデザイン」とは？

最初から、年齢や性別、体力や障がいのあるなしに関係なく、どんな人でも（ユニバーサル）使いやすくわかりやすいように、まちや身の回りのものを作る（デザインする）という考え方です。



つまり、バリアフリーは
「いまあるバリアをなくすこと」。
ユニバーサルデザインは、
「はじめからバリアを作らない
ようにする」ことなのです！

めざそう！『こころのバリアフリー』

～ちょっとした気づかいやお手伝いできもちよく～

まずできることは

『ゆっくり、はっきり、笑顔で』

困っている人に会ったら声をかけてみよう。

- ① 手伝えることがあるか、聞いてみよう。
- ② 相手の様子に合わせて、話をよく聞こう。
- ③ 説明は、ゆっくり、はっきり、ていねいに話そう。
- ④ 相手の立場になった気持ちで考えよう。
- ⑤ ひとりで難しいときは、周りの人と協力しよう。

車いすの方がいたら

『入れない・通れない・利用できない』をなくそう

- ① 手動のドアは声をかけて進んで開け閉めをしよう。
- ② スロープや段差は、車いすを押す手助けをしよう。
- ③ エレベーターでは、障がいのある方やお年寄りを優先しよう。
- ④ 車いすの方は高いところには手が届きません。代わりに取って手渡すなどの心づかいをしよう。



〔障害者のための国際シンボルマーク〕

め　ふ　じ　ゆ　う　かた 目の不自由な方がいたら

め　ふ　じ　ゆ　う　かた　まわ　じょうきょう　しりょくい　が　い　たよ　はんたん
目の不自由な方は、周りの状況を視力以外に頼って判断し
てだす　ひつよう　き
ています。まずは手助けが必要か聞いてみよう。

- ① もくてき　ばしょ　ゆうどう　うで　かた　て
目的の場所まで誘導しよう。腕や肩に手をおいてもらい、
もくてき　ばしょ　あんない
目的の場所まで案内しよう。
- ② みせ　しょうひん　とくちょう
お店などでは商品などイメージできるように特徴をわかり
やすく説明しよう。
- ③ こうさてん　しんごう　ひじょうぐち　あいて　め　い　ち　いろ
交差点の信号や、非常口などは相手の目となって位置や色
かくにん　し
を確認して知らせよう。

もうじん　こくさい
〔盲人のための国際シンボルマーク〕



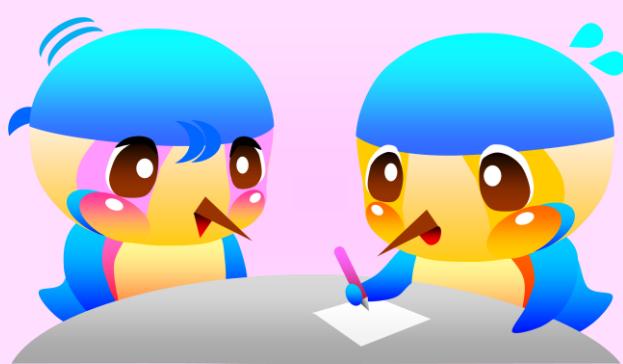
ふ　じ　ゆ　う　かた きこえの不自由な方がいたら

も　じ　つか　つか
文字などを使って、わかりやすく伝えよう。

- ① はな
話しかけるのではなく、紙などに書いて伝えよう。内容は短
く、わかりやすくしよう。
- ② し　ゅ　わ　ゆ　び　も　じ　ひょうじょう　あ　い　て
かみ　か　つた　ないよう　みじか
手話や指文字ができなくても、表情やジェスチャーで相手
に伝えよう。
- ③ お　お　こ　え　は　な
こと　は　く　き　は　な
大きな声で話しかけるのではなく、ゆっくり、はっきりと
言葉を区切りながら話そう。



みみ
〔耳マーク〕



なか まちの中では！

～こんなところにバリアフリー・ユニバーサルデザイン～

みんなが暮らしやすく動きやすくするために様々な工夫がしてあります。

○点字ブロック | バリアフリー

点字ブロックは、目の不自由な方が安全に移動するための大変な「道しるべ」です。道路や建物の中など、様々な所に設置されています。

☆点字ブロックの上には自転車など物を置くようなことは絶対にやめましょう。



○みんなのトイレ | バリアフリー・ユニバーサルデザイン



車いすが入りやすいように、出入口やトイレ内も広く作られています。

また、ベビーベッドやオストメイトも設置されています。

☆必要な人がいつでも使えるようゆずりあいましょう。

○音の出る信号機 | バリアフリー

音の出る信号機を「音響信号機」とい
います。目の不自由な方が安全に横断
歩道を渡るために設置されています。

最近では、わかりやすく絵(ピクトグ
ラム)がつき、ボタンも大きいタッチ式ス
イッチの設置がはじまっています。



けいしちょう 警視庁HP 「信号機のバリアフリー」より

○エレベーター・スロープなど | バリアフリー・ユニバーサルデザイン



くるま かた お
車いすの方やベビーカーを押して
いる方、杖を使っている方などが楽に
いどう 移動できるように、エレベーター やス
ロープが作られています。

なか かた め かいへい
エレベーターの中には目の不自由な
方がさわってわかる開閉ボタンなど、
さまざま くふう 様々な工夫がされています。

えき ぱあい かいだん くるま しうこうき せっち
また、駅などでエレベーターが無い
場合に、階段に車いす昇降機が設置さ
れています。



「平成30年度版障害者白書」より



○わかりやすい案内板 | バリアフリー・ユニバーサルデザイン

市役所などの案内板は、子どもからお年寄りまでみんなにわかりやすいように、色や形などを考えて作られています。

目の不自由な方のために作られた点字案内版や、音で案内できる装置もあります。また、耳の不自由な方にもわかりやすいよう、文字で案内する電光掲示板があります。



○バスや電車の優先席 | バリアフリー・ユニバーサルデザイン

電車やバスには優先席があります。足の不自由な方、妊婦さん、お年寄りなどのための席です。

その席を必要としている人が乗車してきたら、ゆずるようにしましょう。

また、現在、電車には1編成に1か所以上、車いす専用のスペースが設けられています。



「ヘルプマーク」

外見からわからなくても、助けを必要としている方が、周りの人間に知らせ、助けてもらいやすくするために作られたマークです。

○車いす用駐車スペース | バリアフリー

市役所や保健福祉プラザ、スーパー、公園など多くの人が利用する場所には車いす用の駐車スペースが整備されています。

ここでしか乗り降りできない人がいることを理解し、大切にしましょう。



みんなのまわりにも、たくさんバリアフリー・ユニバーサルデザインがあるはずです。
「思いやり」の心を忘れずに、できることから取り組んでみよう！



『みんなにやさしいまちづくりをめざして』

平成27年3月発行・平成30年11月一部改訂

製作・発行 綾瀬市役所福祉部福祉総務課

〒252-1192 神奈川県綾瀬市早川550番地

TEL : 0467-70-5613 (直通)

E-Mail : wm.705613@city/ayase.kanagawa.jp